

エピック・ファンド・オブ・ファンズ・
**エピック・ヘッジファンド・
セレクション1**

(Epic Fund of Funds - Epic Hedge Fund Selection 1)

円建／ケイマン諸島籍オープン・エンド契約型外国
投資信託

交付運用報告書

作成対象期間(計算期間) 第5期
(2015年12月1日～2016年11月30日)

書面でのファンドの運用報告書(全体版)は受益者の皆様からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社(ヘッジファンド証券株式会社)までお問い合わせください。

その他記載事項
運用報告書(全体版)はヘッジファンド証券株式会社のウェブサイト(<http://hedgefund-sec.com/>)にて電磁的方法により提供しております。

管理会社

**インターナショナル・マネジメント・サービスズ・
リミテッド**
(International Management Services Ltd.)

代行協会員

ヘッジファンド証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、エピック・ファンド・オブ・ファンズ・エピック・ヘッジファンド・セレクション1(以下「ファンド」または「当ファンド」といいます。)は、第5期の決算を行いました。

当ファンドは、投資運用会社が運用する他のファンドに分散投資することにより、リスクを最小限に抑えつつ長期的な絶対収益の達成を目指して運用を行いました。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告いたします。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

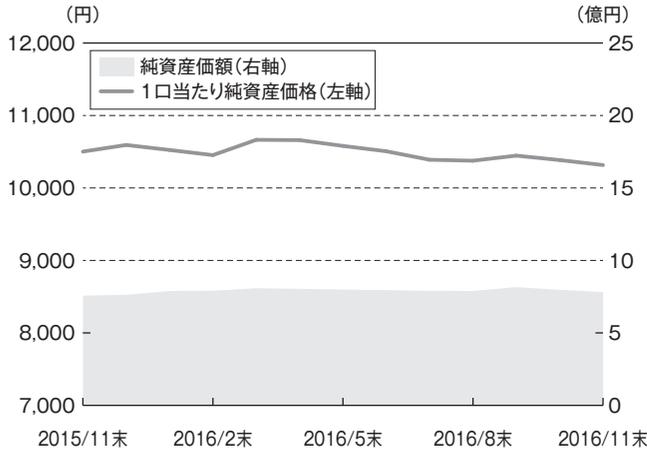
第5期末	
1口当たり純資産価格	10,316円
純資産総額	782,353,463円
第5期	
騰落率	-1.77%

(注1) 当ファンドは、分配金を支払っておりません。

(注2) 騰落率は、前期末との比較です。

《運用経過》

【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



第4期末1口当たり純資産価格：	10,502円
第5期末1口当たり純資産価格：	10,316円
騰落率：	-1.77%

(注1) ファンドは分配金を支払っておりません。
 (注2) ファンドにベンチマークは設定されておりません。
 (注3) ファンドの1口当たり純資産価格は月1回計算されます。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

リスクオフの傾向が強かった年度初めのマイナスは徐々に改善していったものの、英国のEU離脱懸念等による影響で再びマイナスとなり、以降そのマイナスをカバーするには至りませんでした。

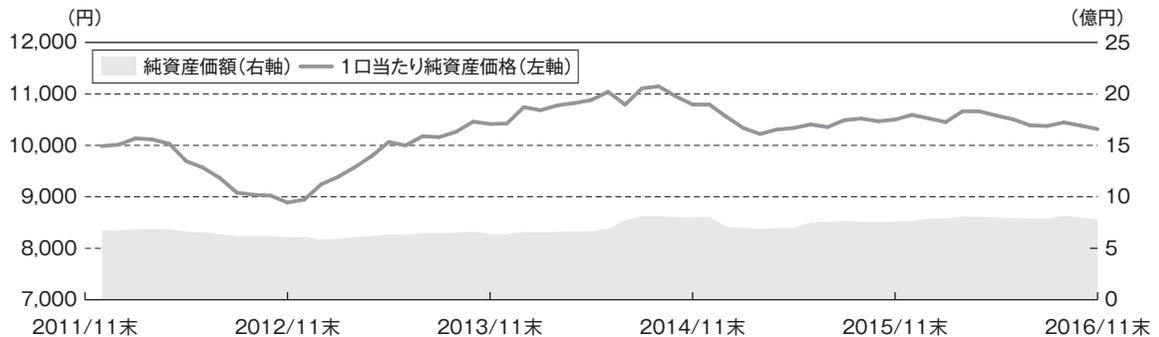
【費用の明細】

項目	料率/金額 ^(注1)	役務の概要
(a)管理報酬	年間22,000米ドルの日本円相当額 (年間7,000米ドルの日本円相当額の主たる事務所提供に関する報酬を含む。)	ファンド資産の管理業務および受益証券の発行業務の対価として支払われるものです。
(b)受託報酬	年間120万円	ファンドの受託業務の対価として支払われるものです。
(c)運用報酬	なし(投資運用会社は、組入ファンドから運用報酬および成功報酬を徴収するため、ファンドからの運用報酬は徴収しません。)	—
(d)保管報酬	純資産価額の残高150億円まで年率0.02% それを超える部分は年率0.01% ただし、最低報酬月額を4万円とします。	ファンド資産の保管業務の対価として支払われるものです。
(e)管理事務代行報酬	純資産価額の残高150億円まで年率0.08% それを超える部分は年率0.06% ただし、最低報酬年額を432万円とします。	ファンドの管理事務代行業務および登録・名義書換事務代行業務の対価として支払われるものです。
(f)代行協会員報酬	純資産価額に対して年率0.25%	受益証券1口当たり純資産価格の公表等、ファンドの代行協会員業務の対価として支払われるものです。
(g)販売報酬	純資産価額に対して年率0.50%	ファンドの受益証券の販売業務・買戻しの取扱い業務およびこれらに付随する業務の対価として支払われるものです。
(h)その他の費用(当期)	1.22% ^(注2)	監査報酬、弁護士費用、登録更新料、取引手数料、通信費等で構成されています。

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記しています。

(注2) 「その他の費用(当期)」については、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示しております。

【最近5年間の一口当たり純資産価格等の推移について】



	第1期末 2012年11月30日	第2期末 2013年11月30日	第3期末 2014年11月30日	第4期末 2015年11月30日	第5期末 2016年11月30日
1口当たり純資産価格 (円)	8,888	10,416	10,795	10,502	10,316
1口当たり純資産価格の騰落率 (%)	-11.12	17.19	3.64	-2.71	-1.77
純資産総額 (円)	607,814,947	639,554,850	798,111,011	757,881,559	782,353,463

(注1) ファンドの運用開始日は、2011年12月19日です。

(注2) ファンドは、設定来、分配金を支払っておりません。

(注3) 騰落率は、前期末との比較です。ただし、第1期末については、2011年12月19日(当初募集価格である受益証券1口当たり10,000円)からの騰落率となります。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されておりません。

(注5) ファンドの1口当たり純資産価格は月1回計算されます。

【投資環境について】

2016年の年初は中国や米国の景気への不安や原油価格の下落により円高が進み、大幅な下落となりました。6月に英国のEU離脱が確実となると日経平均は一時15,000円を割り込みました。その後は米国経済統計の回復で緩やかな円安株高となりました。11月の米国大統領選でトランプ候補が勝利すると米国の財政拡大期待から長期金利が上昇し、円安が進み株高となりました。

【ポートフォリオについて】

年初は円高と企業業績悪化懸念からリスクオフの展開となり、ポジション解消の動きが見られたことからエピック・ジャパン・ファンド・ブライズ・オブ・ジャパン・ファンドとエピック・ジャパン・ファンド・ウィズダム・オブ・ジャパン・ファンドの収益を押し下げました。その後は両ファンドとも回復傾向が見られましたが、英国のEU離脱懸念からEU経済の後退リスクが高まり再びマイナスの収益となりました。エピック・ジャパン・アルファ・ファンド・レゾリューション・オブ・ジャパン・ファンドは期を通じて良好なパフォーマンスでしたが、全体のマイナスを埋めることは出来ませんでした。

【ベンチマークとの差異について】

ファンドはベンチマークを設定しておりません。後記「参考情報」のグラフは、純資産価格と他の代表的な資産クラスとの騰落率の対比です。

【分配金について】

ファンドは、分配を行いません。

《今後の運用方針》

各組入ファンドごとの運用方針は以下の通りです。

- エピック・ジャパン・ファンド-ブラウイス・オブ・ジャパン・ファンド:
 個別企業の業績・需給動向や国内外のマクロ動向を勘案し、相対的な割高・割安を適切に判断しながら、マーケットの上下に左右されない安定した収益の獲得を目指します。
- エピック・ジャパン・アルファ・ファンド-レゾリューション・オブ・ジャパン・ファンド:
 業績モメンタムの変化に留意し、継続した業績拡大可能な割安銘柄の組入と、成長力や競争力といった中期的な視点により割安銘柄と割高銘柄の選別を進めます。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

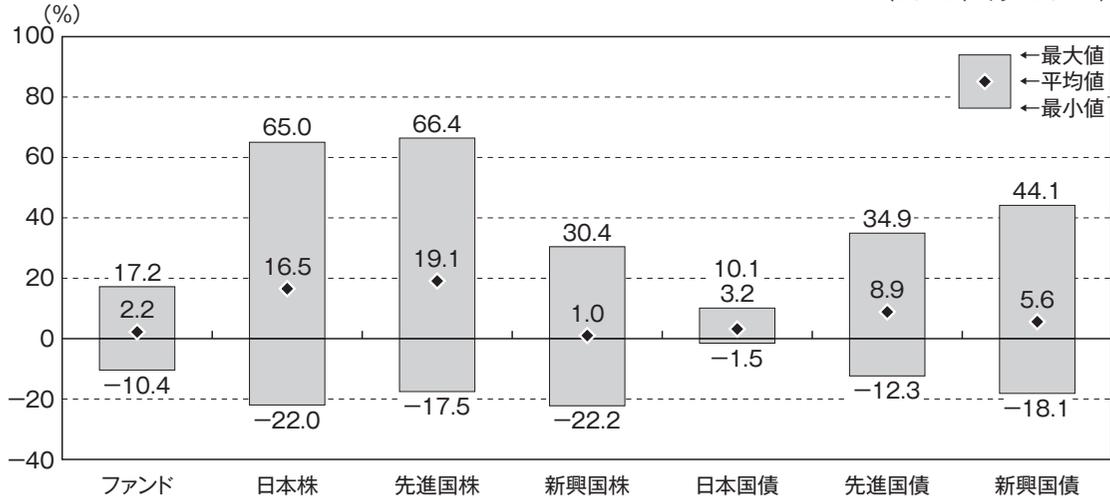
ファンドの形態	円建/ケイマン諸島籍/オープン・エンド契約型外国投資信託
信託期間	信託設定日は平成23年10月24日、存続期間はマスター・トラスト設定から150年間です。
繰上償還	受託会社および管理会社は、以下のいずれかの状況においてファンドの終了を決定することができます。 (a)ファンドの純資産価額が1億円未満となったとき (b)ファンドが2つ以上の組入ファンドへ投資できなくなったとき (c)投資運用会社が、投資運用契約に基づく義務を履行するために必要な全ての免許、認可、許可および承認の保有をやめたときまたは投資運用会社の解散もしくは管理に関する申し立てが行われもしくは決議が可決されたとき
運用方針	ファンドの投資目的は、リスクを最小限に抑えつつ長期的に絶対収益を達成することにあります。
主要投資対象	投資運用会社が自ら運用する組入ファンドに投資します。
ファンドの運用方法	投資運用会社は自らが運用する組入ファンドにその資産を投資することによってファンドの投資目的を達成することを目指しています。ファンドはまた現預金を保有することもできるほか、買戻請求に対する一時的な資金調達を目的として投資運用会社はその裁量で決定する国債、譲渡性預金およびコマーシャル・ペーパーなどの短期市場商品への投資も可能です。
分配方針	ファンドは分配を行いません。

(参考情報)

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

下記のグラフは、2012年4月～2017年3月における年間騰落率(各月末時点)の最大値・最小値・平均値をファンドと他の代表的な資産クラスとの間で比較したものであり、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(2012年4月～2017年3月)



(注1) ファンドは設定来分配を行っておりません。

(注2) ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。ファンドは2011年12月19日から運用を開始したため、設定日から2012年11月末までは直近1年間の騰落率が算出されないことから、2012年12月から2017年3月までの各月末時点における直近1年間の騰落率を表示しています。

(注3) 代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。

(注4) ファンドと他の代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。ただし、ファンドについては2012年12月から2017年3月までの各月末時点における直近1年間の騰落率を表示しています。

(注5) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

<代表的な資産クラス>

- 日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
- 先進国株・・・ラッセル先進国(除く日本)大型株インデックス(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・S&P新興国総合指数(配当込み、米ドルベース)
- 日本国債・・・シティ日本国債インデックス
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・シティ新興国市場国債インデックス(円ベース)

東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「(株)東京証券取引所」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、ファンドは、(株)東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

ラッセル・インデックスに関連する登録商標、トレードマーク、サービスマークおよび著作権等の知的財産権、指数値の算出、利用その他一切の権利は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは資産運用管理の対象とはなりません。またインデックス自体は直接的に投資の対象となるものではありません。

シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックスおよびシティ新興国市場国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

《ファンドデータ》

【組入資産の内容(第5期末)】

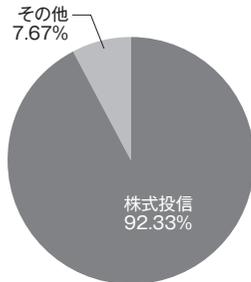
●組入ファンド(3ファンド)

	銘柄名	主要投資対象	通貨	国	投資比率(%)
1	エピック・ジャパン・ファンド- ブラウイス・オブ・ジャパン・ファンド	日本株	円	日本	31.30
2	エピック・ジャパン・アルファ・ファンド- レゾリューション・オブ・ジャパン・ファンド	日本株	円	日本	30.52
3	エピック・ジャパン・ファンド- ウイズダム・オブ・ジャパン・ファンド	日本株	円	日本	30.51

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) ファンドは、2016年11月30日までエピック・ジャパン・ファンド-ウイズダム・オブ・ジャパン・ファンド(以下「ウイズダム」といいます。)を保有していましたが、2016年12月1日付で全口売却しました。ウイズダムは2017年1月25日に償還されました。本書作成日現在、組入ファンドはエピック・ジャパン・ファンド-ブラウイス・オブ・ジャパン・ファンドおよびエピック・ジャパン・アルファ・ファンド-レゾリューション・オブ・ジャパン・ファンドの2つです。

●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



【純資産等】

項目	第5期末
純資産総額	782,353,463円
受益証券発行済口数	75,839.20592口
1口当たり純資産価格	10,316円

(単位:口)

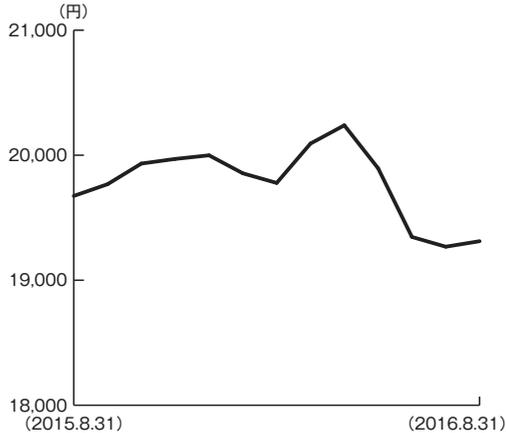
第5期中		
受益証券販売口数	受益証券買戻口数	受益証券発行済口数
8,187.05378 (8,187.05378)	4,516.40520 (4,516.40520)	75,839.20592 (75,839.20592)

(注) ()の数は日本国内における販売・買戻しおよび発行済の受益証券口数です。

【組入ファンドの概要】

エピック・ジャパン・ファンド・プラウイス・オブ・ジャパン・ファンド
 (計算期間: 2015年9月1日~2016年8月31日)

● 基準価額の推移



● 上位10銘柄

(組入銘柄数: 360銘柄)

(2016年8月31日現在)

銘柄	資産	国	通貨	比率
東邦ガス	株式	日本	日本円	-6.40%
日経225先物 2016/09	株式先物	日本	日本円	-5.65%
TOPIX運動型上場投資信託	株式 (ETF)	日本	日本円	-4.52%
カゴメ	株式	日本	日本円	-3.72%
TOPIX先物 2016/09	株式先物	日本	日本円	-3.14%
日経225連動型上場投資信託	株式 (ETF)	日本	日本円	-3.02%
トヨタ自動車	株式	日本	日本円	-2.89%
プリマハム	株式	日本	日本円	2.73%
スルガ銀行	株式	日本	日本円	-2.55%
J-POWER	株式	日本	日本円	2.49%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

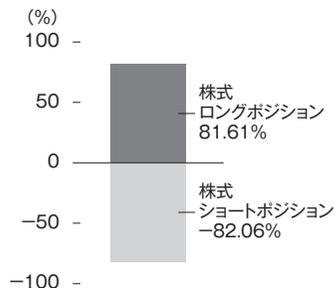
● 1万口当たりの費用明細

(2016年8月31日現在)

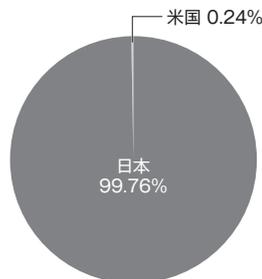
管理報酬	純資産価額の年率0.175%。ただし、最低報酬年額を1,379万5千2百円とします。
受託報酬	年間143万7千円
運用報酬	月ごとに純資産価額の年率2%
成功報酬	四半期ごとにハイウォーターマークを上回った収益分の20%
販売手数料	月ごとに純資産価額の年率0.5%
その他費用	0.09%

(注1) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当該組入ファンドの直近の期末現在の全体の金額を記載しています。
 (注2) その他費用には、当該組入ファンドの直近の計算期間におけるその他費用の合計の純資産総額に対する割合を記載しています。

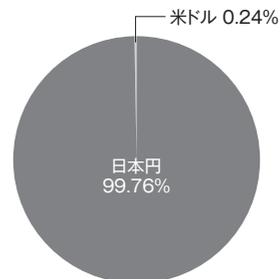
● 資産別配分



● 国別配分



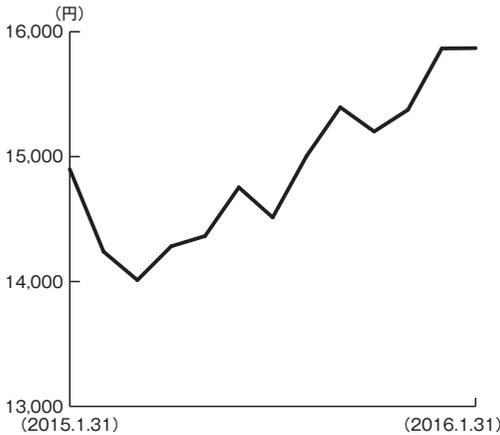
● 通貨別配分



エピック・ジャパン・アルファ・ファンド-レゾリューション・オブ・ジャパン・ファンド

(計算期間: 2015年2月1日~2016年1月31日)

● 基準価額の推移



● 上位10銘柄

(組入銘柄数: 244銘柄)

(2016年1月31日現在)

銘柄	資産	国	通貨	比率
TOPIX先物 2016/03	株式先物	日本	日本円	-47.59%
中村超硬	株式	日本	日本円	2.70%
ペプチドリーム	株式	日本	日本円	2.61%
デジタルガレージ	株式	日本	日本円	2.50%
豆蔵ホールディングス	株式	日本	日本円	2.39%
セブテーニ・ホールディングス	株式	日本	日本円	2.33%
コロブラ	株式	日本	日本円	2.12%
アウトソーシング	株式	日本	日本円	2.03%
日産化学工業	株式	日本	日本円	-1.96%
ソースネクスト	株式	日本	日本円	1.92%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 1万口当たりの費用明細

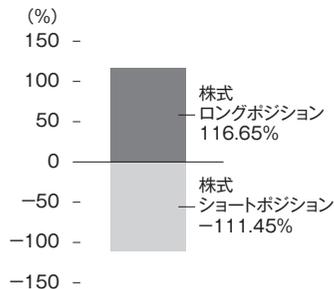
(2016年1月31日現在)

管理報酬	純資産価額の年率0.16%。ただし、最低報酬月額を50万円とします。
受託報酬	年間18,000米ドル
運用報酬	月ごとに純資産価額の年率2%
成功報酬	四半期ごとにハイウォーターマークを上回った収益分の20%
販売手数料	月ごとにJPY-Mクラスの純資産価額の年率0.5%
その他費用	0.17%

(注1) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当該組入ファンドの直近の期末現在の全体の金額を記載しています。

(注2) その他費用には、当該組入ファンドの直近の計算期間におけるその他費用の合計の純資産総額に対する割合を記載しています。

● 資産別配分



● 国別配分



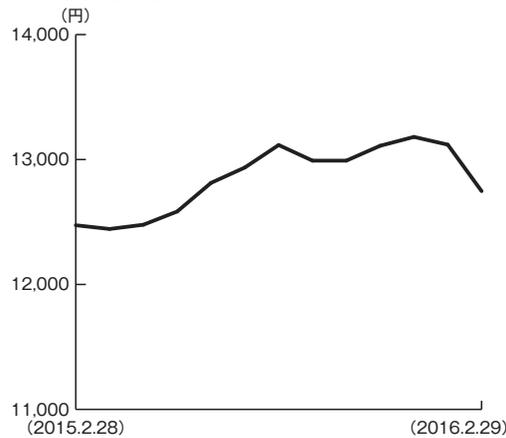
● 通貨別配分



エピック・ジャパン・ファンド・ウィズダム・オブ・ジャパン・ファンド

(計算期間: 2015年3月1日~2016年2月29日)

● 基準価額の推移



● 上位10銘柄

(組入銘柄数: 416銘柄)

(2016年2月29日現在)

銘柄	資産	国	通貨	比率
TOPIX連動型上場投資信託	株式(ETF)	日本	日本円	-9.67%
日経225連動型上場投資信託	株式(ETF)	日本	日本円	-8.79%
TOPIX先物 2016/03	株式先物	日本	日本円	-4.45%
日経225先物 2016/03	株式先物	日本	日本円	-4.13%
東邦ガス	株式	日本	日本円	-3.40%
カルソニックカンセイ	株式	日本	日本円	-2.51%
山一電機	株式	日本	日本円	2.19%
アイシン精機	株式	日本	日本円	-1.99%
デンソー	株式	日本	日本円	1.99%
かんぽ生命保険	株式	日本	日本円	-1.92%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 1万口当たりの費用明細

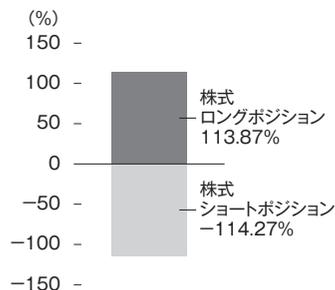
(2016年2月29日現在)

管理報酬	純資産価額の年率0.155%。ただし、最低報酬年額を848万円とします。
受託報酬	年間125万円
運用報酬	月ごとに純資産価額の年率1.5%
成功報酬	四半期ごとにハイウォーターマークを上回った収益分の20%
販売手数料	月ごとにJPY-Mクラスの純資産価額の年率0.5%
その他費用	0.37%

(注1) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当該組入ファンドの直近の期末現在の全体の金額を記載しています。

(注2) その他費用には、当該組入ファンドの直近の計算期間におけるその他費用の合計の純資産総額に対する割合を記載しています。

● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注) ファンドは、2016年11月30日までエピック・ジャパン・ファンド・ウィズダム・オブ・ジャパン・ファンド(以下「ウィズダム」といいます。)を保有していましたが、2016年12月1日付で全口売却しました。ウィズダムは2017年1月25日に償還されました。本書作成日現在、組入ファンドはエピック・ジャパン・ファンド・ブラウイス・オブ・ジャパン・ファンドおよびエピック・ジャパン・アルファ・ファンド・レゾリューション・オブ・ジャパン・ファンドの2つです。